

## 自律心の強い子供に



内田 芳博議員

**内田芳博議員** 就職問題で、就職生の一番の弱点は、職業意識の低さだと思ふ。地方の生徒は、特に面接で、市街地の生徒に劣ることが、厳しい就職難の一端を引き起こしている。このことから、中学校過程から生徒の将来を考えて、自律心の強い子供の育成に、学校・家庭・地域で積極的に取り組むべきと考えるが。

**福留教育長** 中学校では、進路指導の一環として、生徒の職業意識を養うために、町内企業の職場体験や農業体験を実施して

いる。さらに、中学校の早い時期から、自分の進路に対して目的意識を持たせる指導も行っている。また、我慢する心や何事にも耐えていくという精神力も培っていく必要がある。今後も自己の進路や将来の職業に対する関心を高めて、望ましい職業観の育成を図るよう進路指導の充実に努めたい。

## 親も子も意識改革を

**内田議員** 将来を担う高校生の就職難を、地域社会が傍観してはなるまい。学校や職業安定所任せでなく、地域社会全体が一体となって、知恵を絞る必要がある。また、親も子も意識改革が大事だ。雇用情勢の好転は、望めそうにない。企業に人材

を育成する余裕がないこともだが、高校生自身にも問題がある。離職率を見ると、一年目が二五割、二年目が一五割、三年目が一〇割となっている。企業の見る目も厳しく、高校生も反省すべきだ。保護者も、職を求める期待感の強い子供となるよう最善の努力が必要ではないか。

## 生きる力を

## 身につける

**教育長** 就職難は高校生を直撃し、来春の新卒者の就職内定率は四〇割台と過去最悪となっている。このような厳しい現状に、親・子の就職に対する意識の改革も必要である。子どもが本当に生きていく、生き抜いていく力と

いわれる「生きる力」を身に付けさせなければならぬ。この生きる力である「知・徳・体」の三つの分野で、何事にも頑張る心、人と協調していく心、最後まで頑張る精神力を身につけさせることが大事である。保護者の意識についても県内就職志向が強い。県外に出して、かわいい子どもには旅をさせるといった親の意識も必要ではないかと思ふ。

## 積極的な対応と

## 情報の先取りを

**北村町長** 非常に厳しい状況であり、町内にある工場に、ぜひ採用をとお願いもした。朝日特殊陶業については、本社まで行ってお願いし、三人の高校生を採用してもらったこととなった。今後ハローワークと連携を密にして、積極的に対応していきたい。



高校生の職場体験実習（さつま東部クリーンセンター）